

ORACLE

# MySQLの新章へ： コミュニティ連携を加速する新方針と MySQL 9.7 LTSの注目機能









オープンソースカンファレンス2026 Nagoya

---

梶山 隆輔 / KAJIYAMA, Ryusuke

Technology Business Development Director  
Open Source Data Platforms

# Oracleが提供する オープンソース・データ・プラットフォーム 全体イメージ

リレーショナルデータベース	リレーショナルデータベース + NoSQL	NoSQL		インメモリデータベース
 <p><u>OCI Database with PostgreSQL</u></p>	 <p><b>HeatWave</b></p>	 <p><u>OCI Search with OpenSearch</u></p>	 <p><u>Oracle NoSQL Database Service</u></p>	 <p><u>OCI Cache</u></p>
全てのOCIのリージョンでご利用いただける高い可用性を持ったマネージド・サービス				
<p>高い可用性とストレージのオートスケールを兼ね備えたマネージドなPostgreSQLサービス</p> 	<p>機械学習、ベクトル・ストア、LLMを組み込んだインメモリのクエリ・アクセラレータを統合したMySQLサービス</p> 	<p>文書データの索引型の全文検索やセマンティック検索を行い、可視化や分析が可能なOpenSearchサービス</p> 	<p>シンプルなクエリに対し、高いパフォーマンスを実現するフルマネージドのNoSQLサービス</p>	<p>低レイテンシかつ変化するアクセス・ボリュームに動的に対応できる高い拡張性をもつRedis/Valkeyサービス</p> 



# OCIのオープンソースのデータベース系製品のAI関連機能

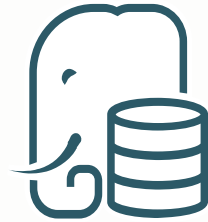
Oracle MCP Server Repositoryには2種類のMySQL用MCP Serverも [URL: https://github.com/oracle/mcp](https://github.com/oracle/mcp)

## MySQL



- トランザクション処理と高速分析を両立
- DB組み込みLLMとOCI AIサービスの選択可能
- ベクトル・ストア、RAG、チャット、機械学習を統合

## OCI Database with PostgreSQL



- 耐久性の高いストレージベースの高可用性
- ベクトル・ストアとベクトル・インデックスをサポート
- OCI AIエージェントのストレージとして利用可能

## OCI Search with OpenSearch



- 文書検索に加え、可観測性とログ分析
- セマンティック検索&ハイブリッド検索
- OCI AIエージェントのナレッジベースに

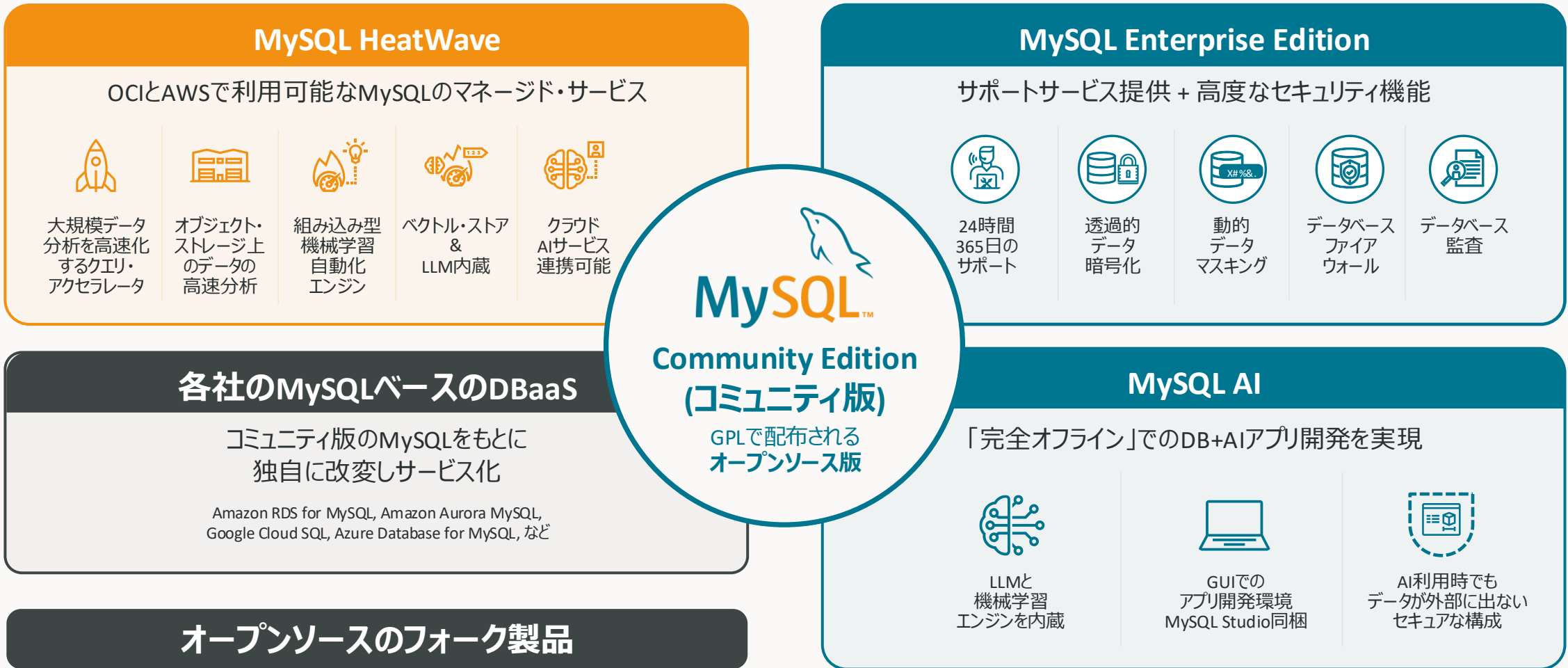
## OCI Cache



- Redis/Valkey互換のデータキャッシュ
- Valkey 8.1でセマンティック検索をサポート
- 推論結果のキャッシュや中間データへ高速アクセス

# MySQLの製品エコシステム

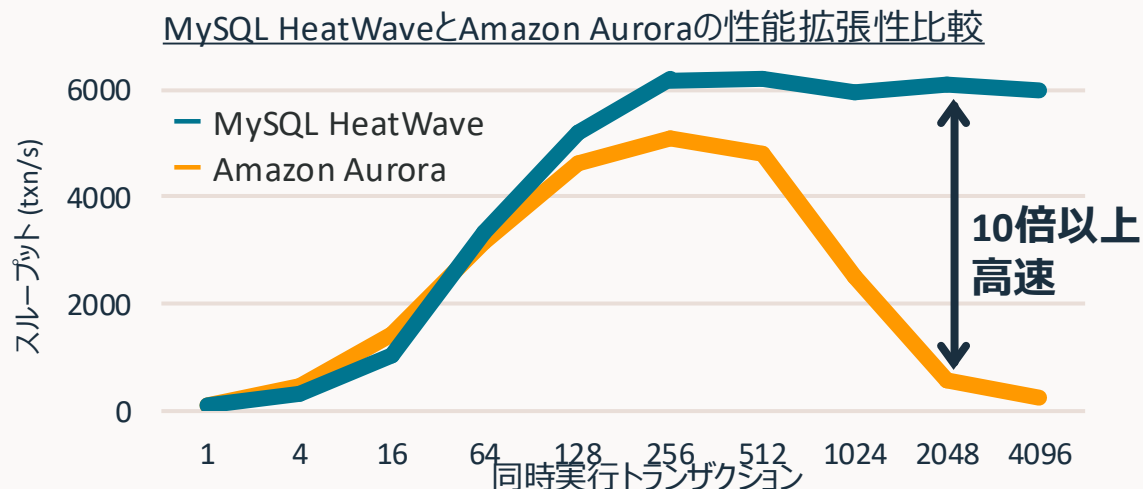
MySQLコミュニティ版を中心に、用途に応じて得られる製品・サービス群



# クラウド版MySQLサーバーとしてのMySQL HeatWave

業界“唯一”のEnterprise版によるフルマネージド型のMySQLサービス

- シンプルかつ安価な価格体系
- MySQLのスレッドプールによる高い性能拡張性
- MySQLの開発元が提供するサポートサービス
- マルチAZ/FDに分散配置した高可用性
- リードレプリカによる参照処理性能向上



## コスト比較 200GBのストレージ利用時

- MySQL HeatWave: 約1,200ドル/月, 4ノード構成
  - Amazon Aurora: 約2,200ドル/月, 2ノード構成
- ※ 8 vCPU, メモリ 64GB, 200GBストレージ  
高可用性構成および参照処理用ノードあり

+ α

- AutoPilotによるインデックス・アドバイザやスレッドプール・アドバイザによる性能向上
- クエリ・アクセラレータのHeatWaveエンジンの追加で大幅な分析処理性能の向上可能
- DB内データに対する機械学習処理もHeatWaveエンジン追加で対応可能

オラクルのMySQL開発チームが提供する  
安価かつ高性能なクラウド版MySQL

# 顧客事例：株式会社イープラス様

2,600万人を超える会員が利用するチケット販売サイトの会員管理基盤をMySQL HeatWaveに移行しコスト削減と処理性能向上を両立

## システム概要

- 「イープラス」は業界最大級のチケット販売サイトで、**2,600万人を超える会員**が利用 (※会員数は2025年9月時点)
- 会員システムのモダナイゼーションを機にOCIへシステムを移管

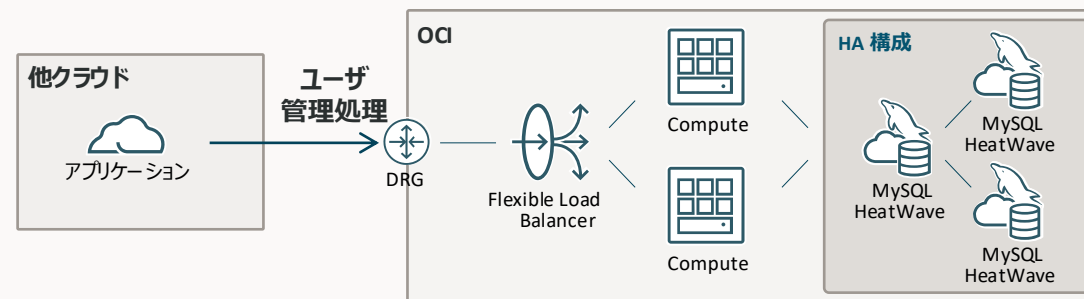
## 従来の課題

- クラウドの利用コストに加え、為替変動により予測不可能な支出の増加が発生
- 多くの会員が一斉にアクセスするチケットの販売時に、負荷の高まりから処理の遅延が発生
- 混雑に備えあらかじめ多くのインスタンスを起動し負荷への対応を準備していたため、不要なコストが発生

## 導入効果

- OCIへの移行によってこれまでよりも**コスト削減**に成功し、さらに為替の影響も最小限に抑えることができた
- データベースの処理性能が向上したことで、**インフラ台数の削減と運用負荷の軽減**を実現
- 「トランスリティカル」なDBとなったことにより、**データ分析の拡充を推進**

## システム構成イメージ



## 利用サービス・製品

- MySQL HeatWave
- OCI Compute, Load Balancer, VCN, Block Storage

## お客様のコメント

「どのクラウドでもこれ以上のコスト削減は難しいと考えていましたが、OCIでの同等のシステム構成の見積りは想定よりも安価でした。移行後の費用対効果も良好です。

MySQL HeatWaveがもつリアルタイム分析や機械学習の機能を活かし、チケット販売において課題となっている不正な利用の検出を強化する施策を拡充できればと考えています。」

株式会社イープラス システム部 統括部長 尾崎欧州氏



# MySQL HeatWave Migration Assistant

オンプレミスやIaaS上のMySQLサーバーからOCI上のMySQL HeatWaveへのスムーズな移行

## GUIベースの移行支援ツール

スキーマ、データ、アカウントの移行とレプリケーションのセットアップ

## ダウンタイム無しでの移行 –

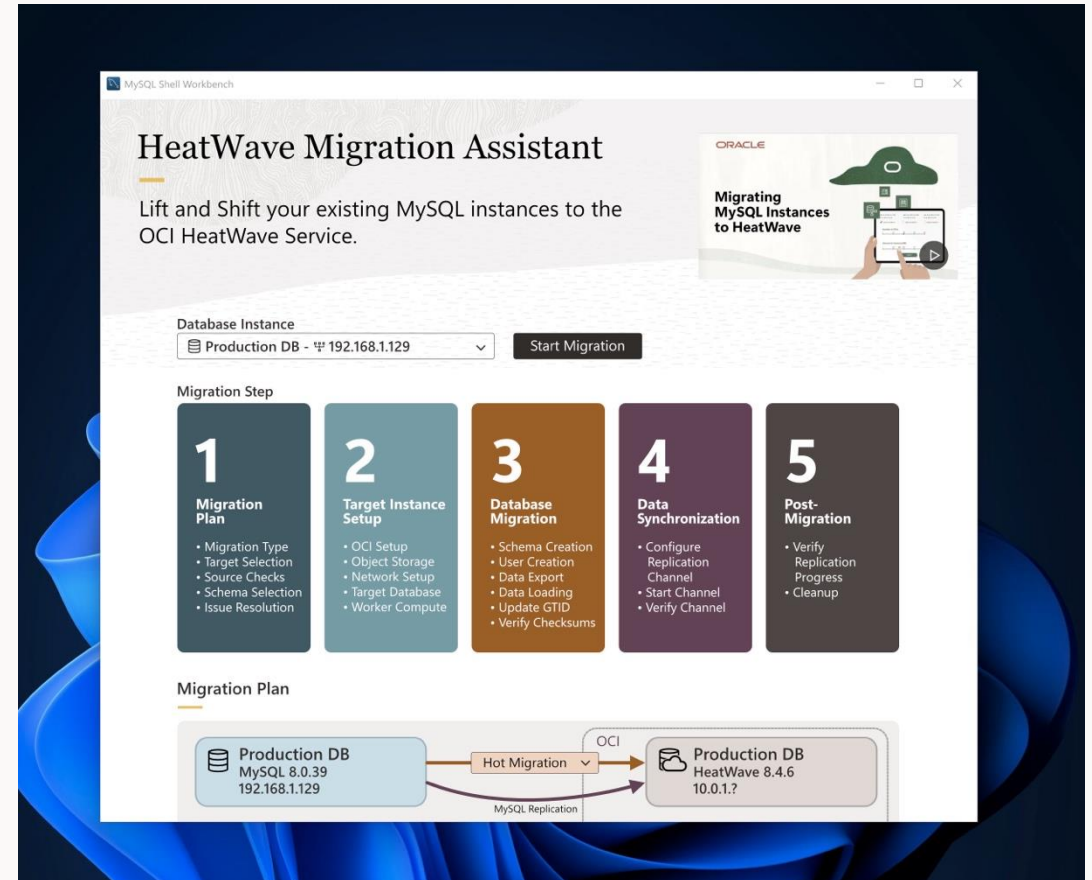
アプリケーションへの影響を最小限に抑制

## 移行元データベース

- MySQL 5.6, 5.7, 8.0, 8.4 LTS, 9.x (Perconaを含む)

## 移行先のMySQL HeatWaveのバージョン

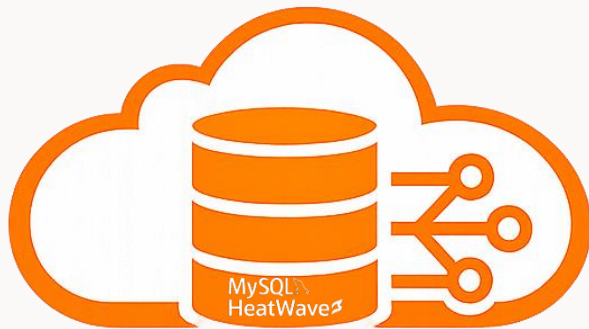
- 8.4 LTS, 9.7 LTS



# MySQLのAI戦略: 環境に合わせて選べる2つの選択肢

## MySQL HeatWave GenAI

フル・マネージドのクラウド・サービス  
高性能な分析 & 生成AI機能  
OCIとAWSのAIサービスと連携可能



## MySQL AI

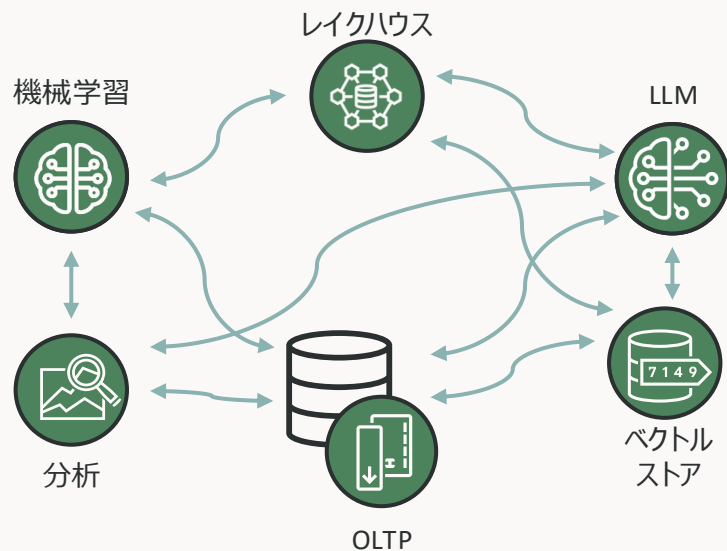
IaaS/オンプレミスへのBYOL  
完全オフラインでのAIアプリ開発  
自社環境で安全にAI活用



# MySQL AI

生成AI (LLM), AutoML, ベクトルストア、NL2SQLをMySQLサーバー内に統合

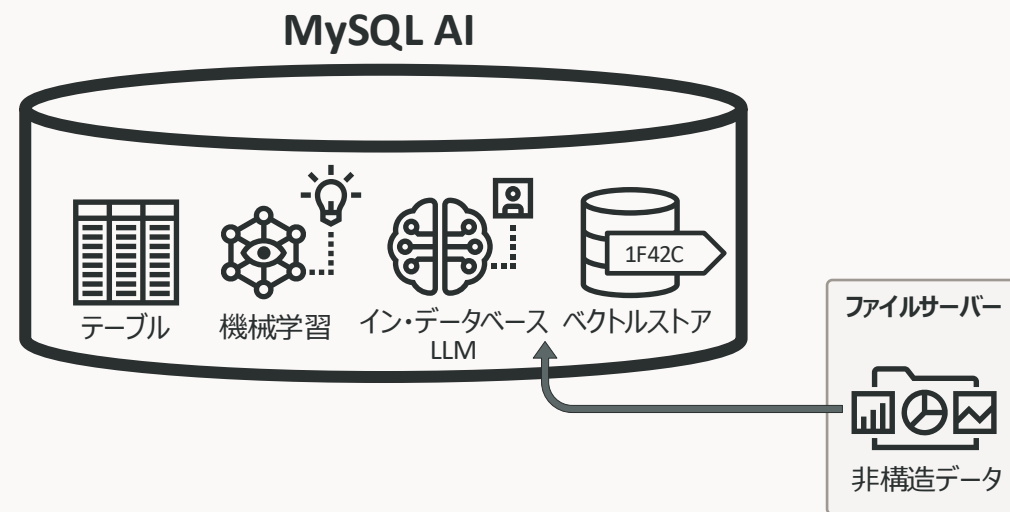
## 従来



### 複数のツールを組み合わせた複雑な構成

- 煩雑で運用管理負荷の高い多数のETLプロセス
- 複数の製品を利用するスキルセットが必要
- セキュリティリスク、運用保守コストの増加

## MySQL AI



### 統合されたシンプルなデータ・プラットフォーム

- データ移動が不要でセキュア
- 追加インフラ不要ですぐに機械学習やAIを活用
- ドキュメントからのナレッジ活用も一気通貫で



# MySQL Enterprise Editionが提供する包括的なセキュリティ機能

## 認証



### MySQL Enterprise Authentication

- 既存の認証基盤との統合やシングルサインオンを実現

## データ保護



### MySQL Enterprise Transparent Data Encryption

- データや各種ログをファイル書き込み時に自動的に暗号化し保護



### MySQL Enterprise Encryption

- データの暗号化と復号に、公開鍵と秘密鍵を組み合わせることでデータを保護



### MySQL Enterprise Masking and De-identification

- 機密データをマスキングや匿名化のためのSQL関数を提供



### New! MySQL Enterprise Dynamic Data Masking

- ユーザーによってマスクされた値を返すことで機密データを選択的に保護

## 監視と監査



### MySQL Enterprise Firewall

- SQLインジェクション攻撃を防止および検知



### MySQL Enterprise Audit

- データのどの部分に誰が何をしたかを追跡する情報の監査記録を生成



## 各種コンプライアンス対応を支援



PCI DSS / HIPAA / GDPR / CCPA 等の各種セキュリティ・コンプライアンス対応を支援

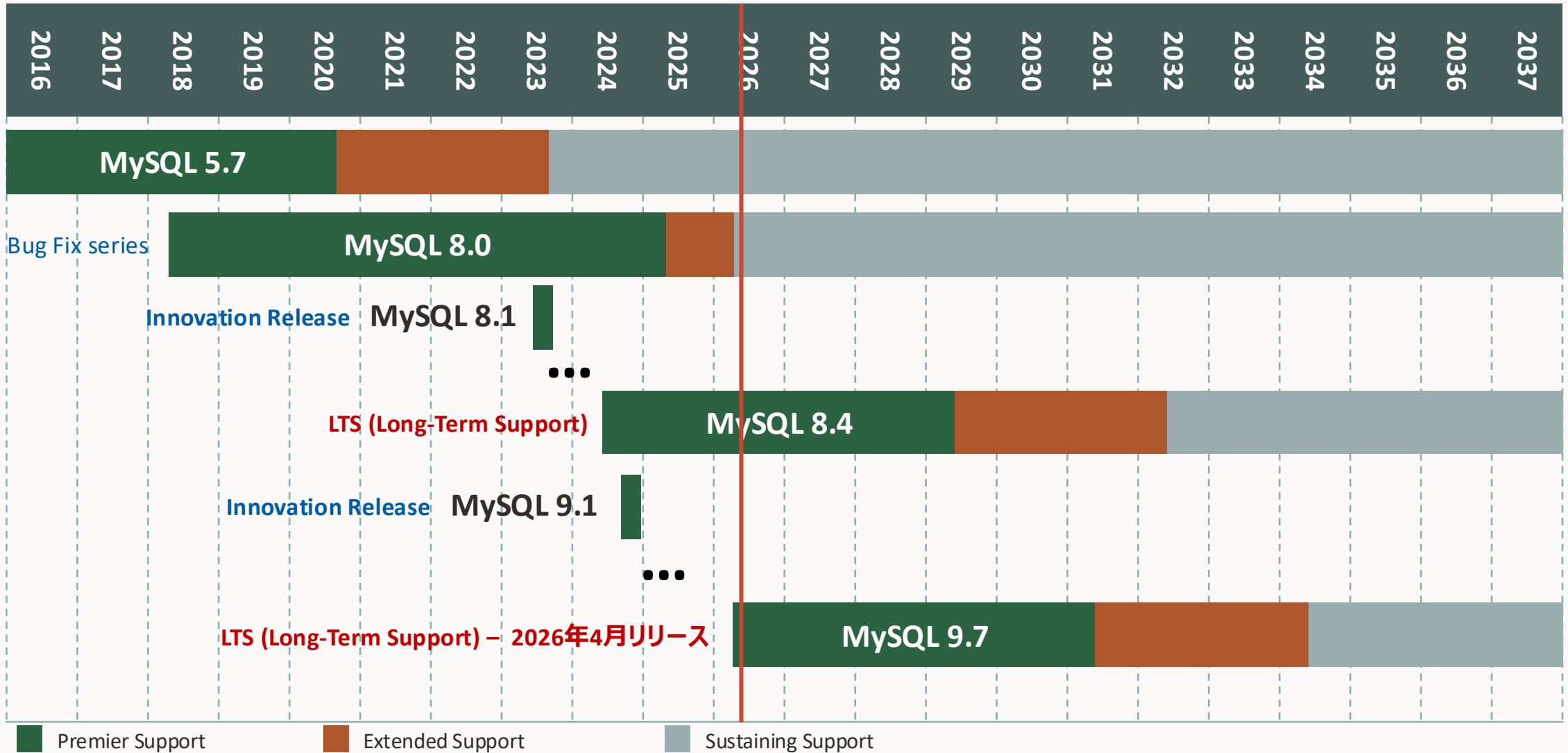


DISA STIG や CIS Benchmark に準拠したセキュリティ強化ガイドラインも提供

# MySQLのバージョン

LTSとイノベーション・リリース

# MySQL リリースとサポートのタイムライン



2026年4月にリリースされたバージョン

9.7.0 LTS

8.4.9 LTS

8.0.46



## イノベーション・リリース

### バグ修正と新機能追加を行うリリース

MySQL 9.0, 9.1 ... 9.6, 10.0

- **リリース方針**

バグ修正

セキュリティ・パッチ

新機能追加

機能やパラメータの非推奨化および削除

- **リリースサイクル**

3ヶ月毎

次バージョンのリリースでEOL

### 本番運用想定テスト済み

## LTS(Long-Term Support)リリース

### バグ修正のみを行うリリース

MySQL 8.4, 9.7

- **リリース方針**

バグ修正

セキュリティ・パッチ

バージョン間の互換性重視

- **リリースサイクル**

リリース後8年間サポート

複数のLTSリリースをサポート予定

### 本番運用想定テスト済み



Parameter	8.4.8	8.0.45
abort-slave-event-count		0
admin-ssl		TRUE
avoid-temporal-upgrade		FALSE
binlog-transaction-dependency-tracking		COMMIT_ORDER
character-set-client-handshake		TRUE
default-authentication-plugin		caching_sha2_password
disconnect-slave-event-count		0
expire-logs-days		0
explain-json-format-version	1	
group-replication-consistency	BEFORE_ON_PRIMARY_FAILOVER	EVENTUAL
innodb		
innodb-adaptive-hash-index	FALSE	TRUE
innodb-buffer-pool-in-core-file	FALSE	TRUE
innodb-change-buffering	none	all
innodb-doublewrite-files	2	0
innodb-doublewrite-pages	128	0
innodb-io-capacity	10000	200
innodb-log-buffer-size	67108864	16777216
innodb-quirks-internals	TRUE	FALSE

# MySQL 8.0から8.4 LTSへのバージョンアップ時に特に確認すべき項目 & Tips

## システム変数名、デフォルト設定、ステータス変数名

- アプリケーションの挙動に大きな影響を与える変更は限定的
- レプリケーション関連の用語変更に伴う変更あり (Master/Slaveの廃止)

## 予約語/キーワード

- MySQL 8.4では11個追加  
**MANUAL**や**AUTO**は列名などで使われている可能性も

## エラーメッセージ

- 廃止されたメッセージもあるため監視や運用スクリプトは要再確認

## グループ・レプリケーションのフェイルオーバーの挙動

- 一貫性を保つ設定になるため、フェイルオーバー直後にトランザクションの同期が完了するまでアプリケーションが待たされる可能性がある

<https://mysql-params.tmtms.net/>

日本MySQLユーザ会代表 とみたまさひろさん作のツール  
SQL関数なども含めてバージョン間の差異を一覧可能

リファレンス・マニュアルに記載の変更点一覧の確認も必須  
What Is New in MySQL 8.4 since MySQL 8.0  
<https://dev.mysql.com/doc/refman/8.4/en/mysql-nutshell.html>

# バージョン間でのパラメーター、予約語などの各種差異を確認できるWebページ

日本MySQLユーザ会代表 とみたまさひろさん作のツール

## MySQL Parameters

<https://mysql-params.tmtms.net/mysql/>

-MySQL Parameters のデータの作り方

<https://zenn.dev/tmtms/articles/031079d690379b6913a6>

-MySQL Parameters で SQL 構文の差分を確認できるようにした

<https://zenn.dev/tmtms/articles/202405-mysql-params>

### MySQL Parameters

mysql | mysql | variable | status | charset | collation | privilege | function | information\_schema | performance\_schema | keyword | error

Version: 5.7.44  8.0.36   Difference only  Include plugins

Parameter	5.7.44	8.0.36
activate_all_roles_on_login		OFF
admin_address		
admin_port		33062
admin_ssl_ca		
admin_ssl_capath		
admin_ssl_cert		
admin_ssl_cipher		
admin_ssl_crl		
admin_ssl_crlpath		
admin_ssl_key		
admin_tls_ciphersuites		
admin_tls_version		TLSv1.2,TLSv1.3
authentication_policy		*,*
auto_generate_certs	ON	ON
auto_increment_increment	1	1



# ネイティブ認証プラグイン `mysql_native_password` 削除

SHA-1アルゴリズムからの脱却

## MySQL 8.0

- `caching_sha2_password` がデフォルトの認証プラグインに変更(SHA-256)

## MySQL 8.4 LTS

- `mysql_native_password` のプラグイン化
- `mysql_native_password` は非推奨
- デフォルトではプラグインとしてロードされないように変更

## MySQL 9.0 IR

- `mysql_native_password` を削除

<https://blogs.oracle.com/mysql/post/mysql-90-its-time-to-abandon-the-weak-authentication-method>



- 研修コース
- 認定資格
- ▼ サポート

▼ サポートプラットフォーム

- MySQL Database
- Oracle Enterprise Manager
- ▶ MySQL NDB Cluster
- MySQL Workbench
- Product Compatibility Matrix

- コマーシャル・レポジトリ

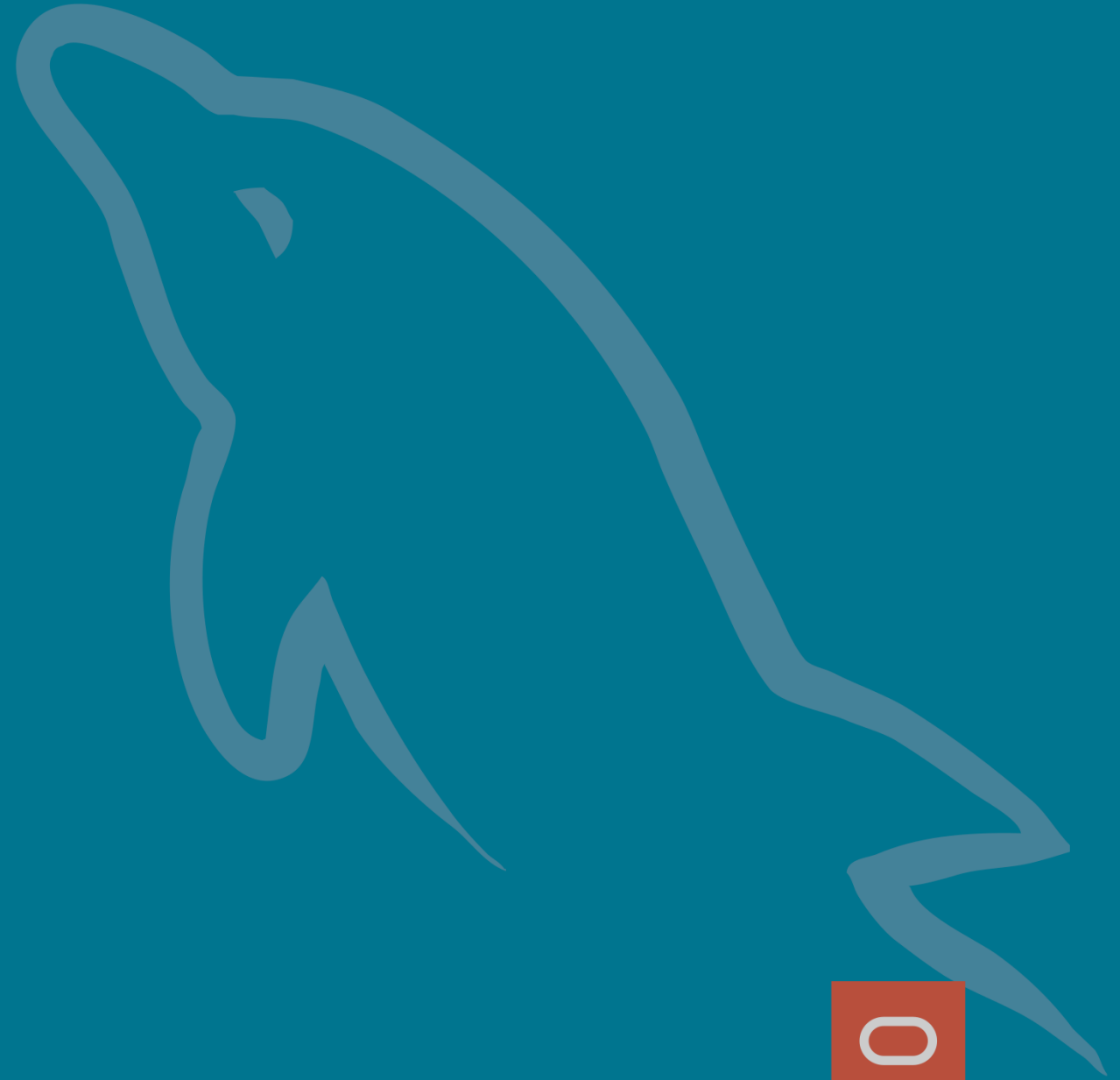
# Supported Compatibility: MySQL Server, Clients, & Tools

This table shows which versions of MySQL clients and tools work with MySQL Server.

Client/Tool	Client/Tool Version	MySQL Server 8.0	MySQL Server 8.4 LTS	MySQL Server 9 Innovation	Recommendation for Client/Tool
MySQL Shell	8.0	•			Upgrade to 9
	8.4 LTS	•	•		Upgrade to 9
	9	•	•	•	
MySQL Router	8.0	•			Upgrade to 9
	8.4 LTS	•	•		Upgrade to 9
	9	•	•	•	
MySQL Connectors	9	•	•	•	9 is required
MySQL Shell for VS Code	9	•	•	•	
Oracle Enterprise Manager for MySQL	13.2.4.0.0	•	•		
MySQL Enterprise Backup	8.0	•			Restore backup with the same version which created it (e.g. 8.0.x)
	8.4 LTS		•		Use the latest version (min 8.4.3+)
	9			•	Use the same version of Backup required for Restores
MySQL Workbench	8.0	•	⚠	⚠	Consider MySQL Shell for VS Code



# MySQL 9.7 Updates



# MySQL 9.7.0

## LTSリリース

### 2026年4月21日

“これまでEnterprise Editionのみで  
利用可能だった機能をコミュニティ版にも提供”

#### 性能関連

- PGOで最適化したコミュニティ版バイナリ
- ハイパーグラフ・オプティマイザ

#### アプリケーション開発関連

- JSON Duality View (DMLの利用)  
※従来のコミュニティ版はSELECTのみ可

#### 可観測性関連

- OpenTelemetryサポート

#### レプリケーション関連

- マルチスレッド・アプライヤーや  
InnoDB Clusterフロー制御のメトリクス
- グループ・レプリケーション
  - 状態監視、自動ノード削除、自動復旧
  - フェイルオーバー時の最新のトランザクションを  
考慮したプライマリ選定



# MySQL Enterprise Editionが提供する包括的なセキュリティ機能

## 認証



### MySQL Enterprise Authentication

- 既存の認証基盤との統合やシングルサインオンを実現
- PAM, LDAP, Kerberos, Active Directory, OpenID Connect, WebAuthn, および多要素認証(MFA)に対応



## データ保護



### MySQL Enterprise Transparent Data Encryption

- データや各種ログをファイル書き込み時に自動的に暗号化し保護
- Oracle Key Vault, HashiCorp Vault, AWS KMSなど外部KMSと連携



### MySQL Enterprise Encryption

- データの暗号化と復号に、公開鍵と秘密鍵を組み合わせることでデータを保護
- 電子署名されたメッセージで送信者の信頼性とメッセージ整合性を確認



### MySQL Enterprise Masking and De-identification

- 機密データをマスキングや匿名化のためのSQL関数を提供
- メールアドレスやUUIDなどのフォーマットに沿ったテスト用データも生成可能



### New! MySQL Enterprise Dynamic Data Masking

- ユーザーによってマスクされた値を返すことで機密データを選択的に保護
- 元データは変更されず、アプリケーションは修正不要

## 監視と監査



### MySQL Enterprise Firewall

- SQL文を監視し、許可されていない操作を記録しブロック
- SQLインジェクション攻撃を防止および検知



### MySQL Enterprise Audit

- データのどの部分に誰が何をしたかを追跡する情報の監査記録を生成
- 使いやすいポリシー・ベースの監査ソリューション



## 各種コンプライアンス対応を支援



PCI DSS / HIPAA / GDPR / CCPA 等の各種セキュリティ・コンプライアンス対応を支援



DISA STIG や CIS Benchmark に準拠したセキュリティ強化ガイドラインも提供

# データ暗号化とデータマスキングの機能比較



データの機密性保持

格納されているデータを暗号化

不正アクセスからの保護

暗号化キーにより復号化可能

**データ暗号化の特徴**



データの可視性制御

役割や利用状況に応じたデータ表示

データ分析やAIからの利用、開発環境

オリジナルデータは変更しない

**データマスキングの特徴**

# MySQL Enterprise Edition 9.7.0: 動的データマスキング

## アプリケーションを変更せずに機微なデータを保護する

ユーザーアカウントやロールに応じて、元の値または**マスク**された値を返す機能

元データは変更されず、アプリケーションの修正不要

MySQL Enterprise Editionと  
MySQL HeatWaveで利用可能

クエリがマスク対象列を参照すると「ゲートキーパー」を評価し、返す値を決定

- 「ゲートキーパー関数」
  - `CURRENT_USER_IN('...')`  
ユーザーベースで判定する場合
  - `CURRENT_ROLE_IN('...')`  
ロールベースで判定する場合

マスキングの処理はMySQLが持つマスキング関数を利用

ユーザー名`SeeALL`以外のユーザーには`ssn`列のマスクされた値を返す例

```
# マスキングのポリシーを作成
CREATE MASKING POLICY mask_ssn_policy(ssn_col)
  CASE WHEN CURRENT_USER_IN('SeeALL')
    THEN ssn_col
    ELSE mask_ssn(ssn_col)
  END;
```

```
# マスキング対象の列にポリシーを適用
ALTER TABLE protected.user_profiles
  ALTER COLUMN ssn
  SET MASKING POLICY mask_ssn_policy;
```

```
# SeeALL以外のユーザーの場合 マスク無し
mysql> select * from user_profiles;
```

id	first_name	last_name	ssn	zip_code
1	James	Smith	900-01-0001	10001

```
# SeeALL以外のユーザーの場合 マスクあり
mysql> select * from user_profiles;
```

id	first_name	last_name	ssn	zip_code
1	James	Smith	XXX-XX-0001	10001

# JSON Duality View

## 表のデータをJSONドキュメント形式で見せるビュー

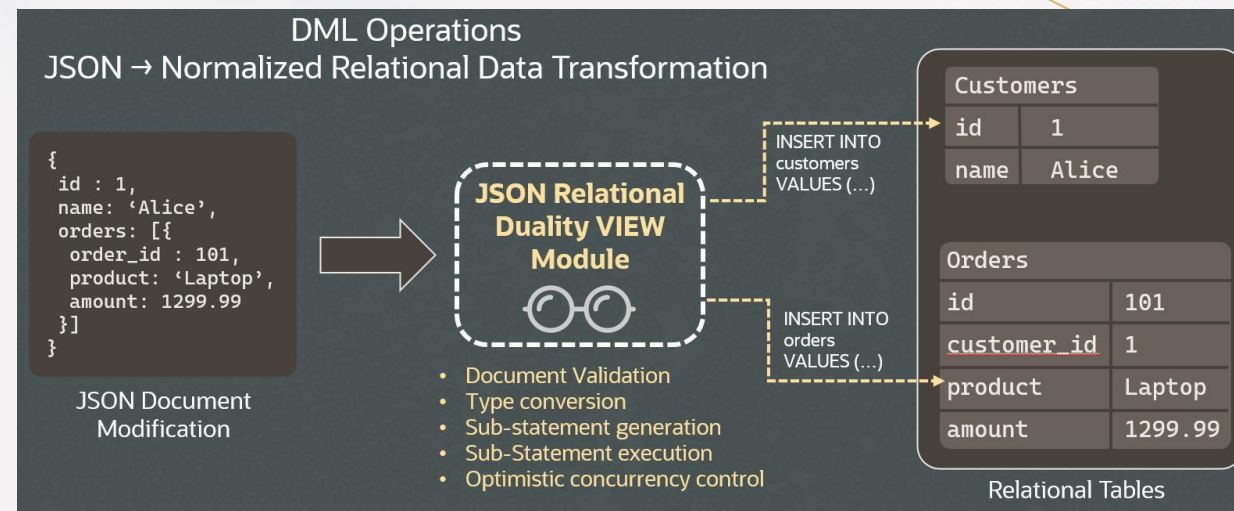
MySQL 9.4.0で実装

- これまではコミュニティ版はSELECT文のみ対応
- 9.7.0 LTSからはコミュニティ版でもDMLを利用可能に

DMLにてAuto Incrementが利用可能に

### メリット

- 同じデータをリレーショナル表とJSONドキュメントの両方の形で扱える
- 複数テーブルを1つのJSONドキュメントとして表現できる
- SELECTでJSON形式の結果を取得できる



# OpenTelemetry

## テレメトリデータのオープン・スタンダード

### OpenTelemetry

- Cloud Native Compute Foundation (CNCF)のプロジェクト
  - オラクルはCNCF Platinumメンバー
- テレメトリデータの収集と管理

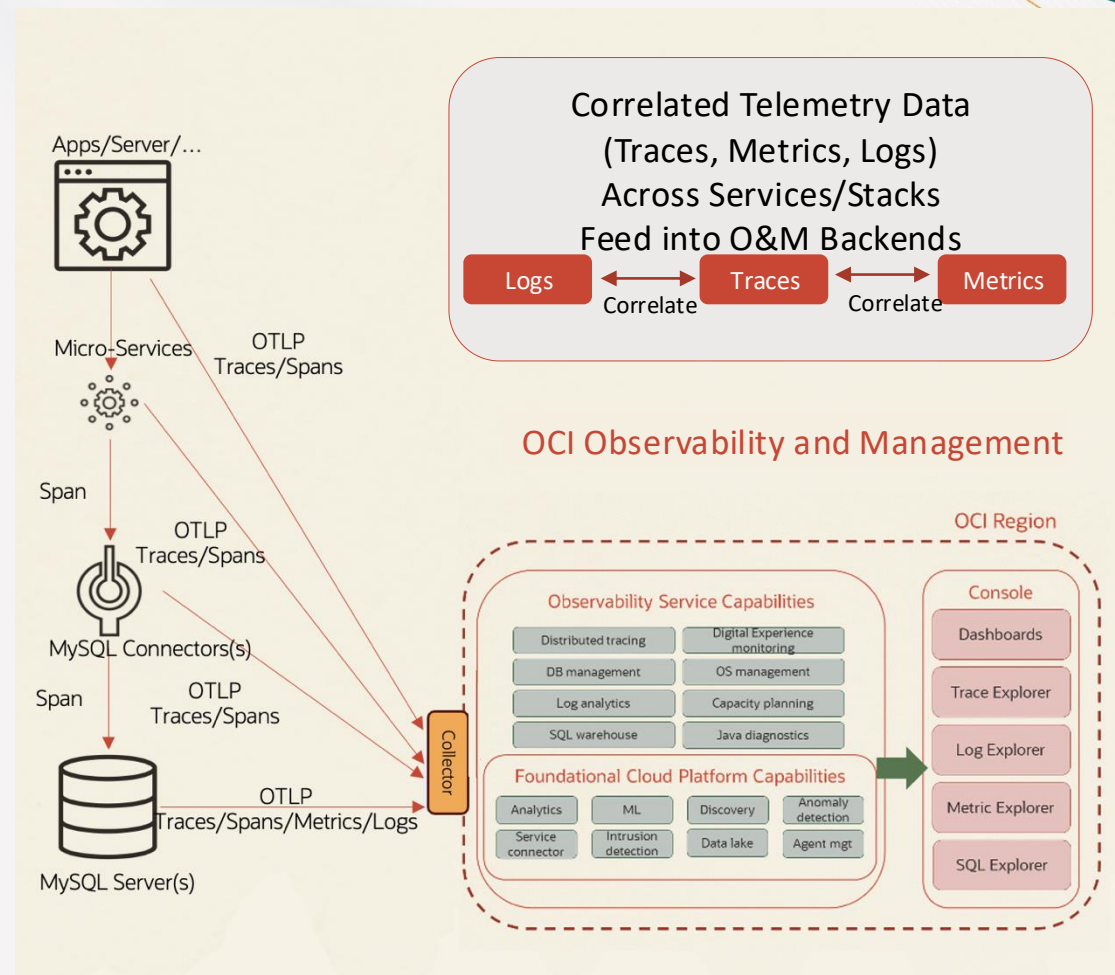
- API, ライブラリ, エージェント, 計装

### MySQLとOpenTelemetry

- メトリクス、トレース、ログを取得する  
OpenTelemetryライブラリを同梱



**MySQL公式ブログ日本語版:**  
MySQL 監視の新時代: Prometheusと  
OpenTelemetry メトリクス



# MySQL 9.7.0 LTS: レプリケーション関連の機能強化

## 統計情報

- レプリケーション関連の可観測性を強化するための統計情報の収集
- 複数のコンポーネント
  - `component_replication_applier_metrics`:  
アプライヤー・スレッドの稼働統計
  - `component_group_replication_flow_control_stats`:  
グループ・レプリケーションの  
フロー制御関連の稼働統計

## グループ・レプリケーション

- リソース・マネージャー・コンポーネント
  - セカンダリーの遅延やメモリ利用量を監視
  - 遅延が大きい場合やリソース使用過多の場合はグループから削除
  - 状況改善後に自動復旧
- プライマリ選択コンポーネント
  - フェイルオーバー時に最新のトランザクションを考慮したプライマリ選定

# 新機能 – 運用管理のアップデート

- OpenSSL 3.5の同梱
  - 汎用Linuxバイナリ(Linux - Generic)に同梱されるOpenSSLがバージョン・アップ
  - 9.7.0, 8.4.9, 8.0.46すべて
  - OpenSSL 3.5は耐量子暗号をサポート → MySQLでのサポートは今後
  - これまでのOpenSSL 3.0と比較して性能向上
- **cached\_sha2\_password** でPBKDF2のストレージ形式をサポート
  - パスワードの格納形式の柔軟性強化
- 新しい変数 **replica\_allow\_higher\_version\_source** 追加
  - 上のバージョンのソースから、下のバージョンのレプリカへのレプリケーションを実施可能に

# MySQL HeatWave 9.7.0 のリリースノートより

※ リリースノートはMySQL HeatWave GenAIにて生成

## MySQL HeatWave

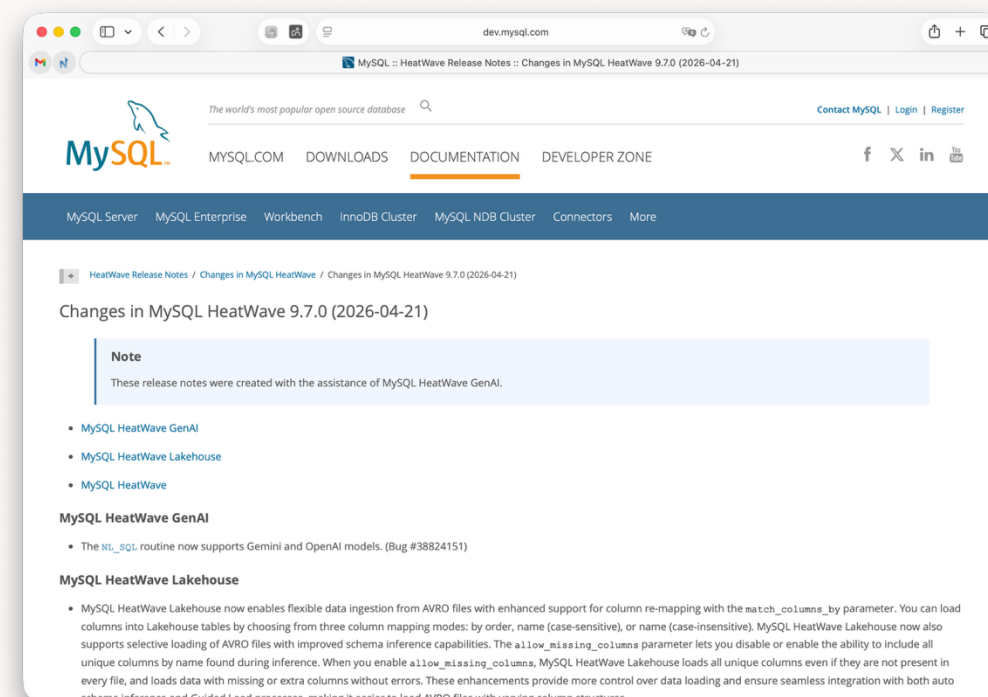
- オブジェクトストレージ上のCSVファイルなどを並列でロードするBulk Ingest\*が外部キー付きのテーブルをサポート  
\* MySQL HeatWave on AWSのみで利用可能
- HeatWaveクラスターへのデータのロードが停止した際に原因をパフォーマンス・スキーマのビューにて確認可能に

## MySQL HeatWave Lakehouse

- AVROファイルのロード時に列のマッピングが可能に
- 一部のAVROファイルに存在しない列がある場合でもエラー無しでロードするかを選択可能に

## MySQL HeatWave GenAI

- 自然言語の問い合わせをSQL文に組み立てて実行するNL\_SQL関数にてGoogle GeminiとOpenAIのモデルを利用可能に



# 各種製品の主な変更点

## MySQL AI 9.7.0: バグ修正のみ

## MySQL NDB Cluster 9.7.0: 記載なし

## MySQL Router 9.7.0:

- DNS ルックアップを回避するホストキャッシュをサポート

## Connector/C++ 9.7.0, Connector/ODBC 9.7.0, Enterprise Backup 9.7.0:

- 同梱のOpenSSLライブラリが3.5.5にバージョン・アップ

## Workbench 8.0.47:

- MySQL HeatWave Migration Assistantが特定のスキーマやオブジェクトを選択しての移行が可能に
- MySQL HeatWave Migration Assistantを動作させているクライアントを経由せずに、直接OCIへのデータ移行可能に

## MySQL Shell 9.7.0:

- InnoDB Cluster, ClusterSet, およびReplicaSetで使用するレプリケーション用アカウントのパスワードを変更するcluster.reset\_recovery\_accounts\_password()が非推奨となり、reset\_replication\_accounts\_password()の利用を推奨
- データのコピーやダンプのユーティリティにてmysql\_native\_password関連の機能追加2点
  - ターゲットが8.4以上の場合に、mysql\_native\_passwordを使用しているアカウントを報告
  - mysql\_native\_passwordが有効となっているMySQL HeatWave宛てにダンプする際に、互換性のためにtarget\_has\_mysql\_native\_passwordオプション追加



ORACLE

# エコシステム拡大のための新方針

MySQL Community Engagement Strategy



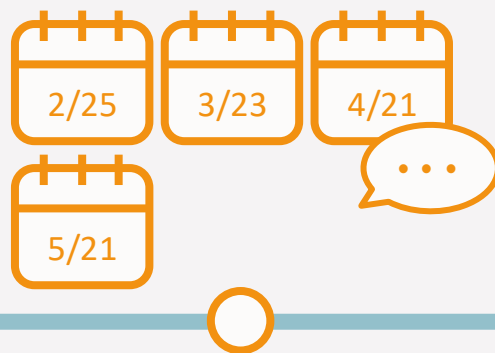
# 2026年ここまでの流れ



2026年2月

MySQLの単独の開発部門がOCIの一部門に

コミュニティとの連携に関する新方針の「三本柱」を発表



2026年2月-5月

MySQL Public Community Discussion ウェビナー

新方針に基づく施策へのフィードバックや機能追加要望の議論



2026年4月21日

MySQL 9.7.0 LTS リリース

今後の方針の土台となる「コミュニティ・ロードマップ」公表



2026年5月26日

MySQL Contributor Summit 開催予定

ロードマップの具体化とコミュニティとの協働の詳細を議論

# MySQL Community Engagement Strategy



## 開発者向け機能の コミュニティ版への 積極的な提供

革新的な機能や改善を  
MySQLコミュニティ版に  
積極的に取り込み、  
全ての開発者に価値を提供



## エコシステムの 拡大と強化のための ツール群の拡充

MySQL開発者間の  
コミュニケーション・ツールを  
整備し、エコシステムの成長と  
イノベーションを加速



## MySQLコミュニティとの 連携のための 透明性の向上

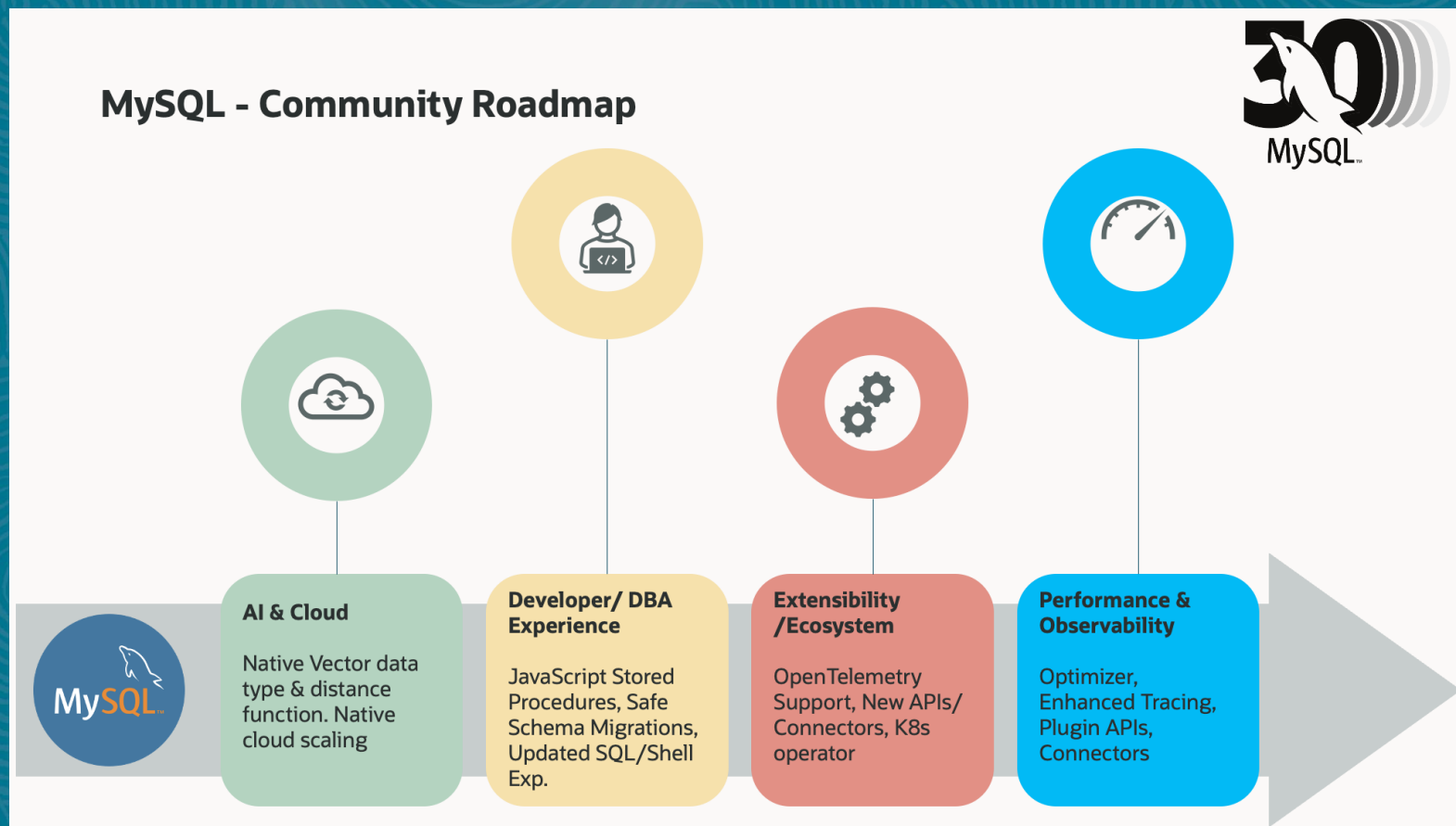
オープンな情報共有と  
対話を推進し、  
コミュニティとともに  
未来のMySQLを築き上げる



# MySQL コミュニティ・ロードマップ

## 4つの注力カテゴリ

1. AI & クラウド
2. 開発者 & DBA 向け機能
3. 機能拡張性 & エコシステム
4. 性能 & 可観測性



<https://blogs.oracle.com/mysql-jp/mysql-community-roadmap-update-and-invitation-mysql-contributor-summit>



# MySQL Community Edition Vulnerability Advisory



MYSQL COMMUNITY EDITION SECURITY ADVISORY

[Back to MySQL Community Vulnerability Advisories](#)

## MySQL Community Edition Vulnerability Advisory: April 2026

This page provides a view of the vulnerabilities addressed in MySQL Community Edition in the April 2026 Oracle MySQL Critical Patch Update. For this page, "MySQL Community Edition" means Community-distributed MySQL products. Only rows that map to Community-distributed components are included here. For the complete risk matrix, including details of fixes in MySQL Enterprise Edition, refer to [Oracle's April 2026 MySQL appendix](#).

### Scope

The broader MySQL Community Edition product set includes MySQL Server, MySQL Cluster, MySQL Shell, MySQL Workbench, and MySQL Connectors. Based on the affected rows shown in the April 2026 Oracle MySQL Risk Matrix, the MySQL Community Edition products represented on this page are:

MySQL Server

MySQL Cluster

MySQL Shell

MySQL Workbench


### How to use this page

- Use the **Product** column to confirm that the row applies to a Community-distributed component.
- Use **Supported Versions Affected** as the vulnerable version range, not the fixed version.
- Use the CVE, component, protocol, exploitability, and CVSS columns to determine exposure and severity.
- Use the corresponding MySQL Community release documentation to identify the release that contains the fix.

<https://dev.mysql.com/community/vulnerability/advisories/>



# Worklog


The world's most popular open source database 
[Contact MySQL](#) | [Login](#) | [Register](#)

MYSQL.COM
DOWNLOADS
DOCUMENTATION
DEVELOPER ZONE

f
X
in
YouTube

Forums
Bugs
Worklog
Labs
Planet MySQL
News and Events
Community
Blog Archive

### Search Tasks

Text:

Status: ALL ▾

Search

**About Worklog**  
MySQL Worklogs are design specifications for changes that may define past work, or be considered for future development.

## Worklog Tasks

Worklog #:

Displaying 1 to 20 of 2426 total results

« Previous
1
2
3
4
5
6
7
8
9
Next »

ID	Task Title	Modified	Version	Status
WL#16520	InnoDB: Allow clone from one LTS version to the next	2026-03-24 15:33:52	Server-9.x	Complete
WL#16851	Support cpuset-cpus cgroup	2026-03-24 15:33:52	Server-9.x	Complete
WL#16904	AdminAPI: Reset ReplicaSet and ClusterSet Internal Replication Account Passwords	2026-03-19 23:13:38	Server-9.x	Complete
WL#17024	Activate triggers on referencing tables during foreign key CASCADE	2026-03-19 23:13:38	Server-9.x	Complete
WL#17215	Implement JDBC 4.3/4.5 Statement/Connection.enquote* methods	2026-03-19 23:13:38	Server-9.x	Complete
WL#17256	Export external databases from inside OCI	2026-03-19 23:13:38	Server-9.x	Complete
WL#17258	Partial Migrations	2026-03-19 23:13:38	Server-9.x	Complete
WL#17260	Separating synchronous and asynchronous code paths	2026-03-19 23:13:38	Server-9.x	Complete
WL#17268	Custom component for compartments	2026-03-19 23:13:38	Server-9.x	Complete
WL#17272	MySQL Router Host Cache – configuration and management	2026-03-19 23:13:38	Server-9.x	Complete
WL#14940	GR: Automatic Eviction on Resource Exhaustion	2026-03-19 23:12:26	Server-9.x	Complete
WL#15620	MTA: extended applier statistics	2026-03-19 23:12:26	Server-9.x	Complete
WL#16239	GR: Flow-control metrics	2026-03-19 23:12:26	Server-9.x	Complete
WL#16432	GR: Up-to-date Aware Primary Election on Failover	2026-03-19 23:12:26	Server-9.x	Complete
WL#16895	Refactor DATE handling in server	2026-03-19 23:12:26	Server-9.x	Complete

https://dev.mysql.com/worklog/



# 4/21 第3回 MySQL Community Discussionのハイライト

## MySQL 9.7 アーリー・アクセス・リリース

- ダウンロード数は約 11,000 件
- 今後もリリースを予定



## バグ報告と機能要望

- 新しいツールの評価
- 提出内容を標準化するための  
**テンプレート整備**
- バグのトリアージ改善
- 進捗状況の伝え方の改善  
→ バグ検証への参加呼びかけ

## 進捗の測定と指標の策定

- コミュニティ貢献の量と質
- 新規コントリビューターおよび  
中心的コントリビューターの増加
- 対応済み課題数、  
バックログの進捗、応答時間
- コミュニティ投稿パッチの量と質
- ロードマッププロジェクトにおける  
イノベーションとリーダーシップ
- イベントやソーシャル・メディアでの  
関与と参加

オープンで説明責任のあるモデルへ

# 5/21 第4回 MySQL Community Discussionのハイライト

## コントリビューションのプロセスの改善

- これまで  
MySQLのバグ・データベース中心
- ↓
- これから  
GitHub中心のワークフローへ

※バグ・データベースの重要性は変わらないため、GitHubとの連携の仕組みを改善する方向



GitHub Issues for feature requests and bug reports



GitHub Discussions for technical conversations



Pull requests for code review



Automated checks where possible



Linked issues, PRs, design proposals, and bug records

## コントリビューションのプロセスの明確化

- MySQL Community Developer Guide に情報を集約
- 機能追加要望のテンプレートとして MySQL Community Design Proposalを使用することに

## Planet MySQL改良

- ブログのアグリゲーションのツール
- 現在一部のアグリゲーションに問題が確認されたため修正中

# https://github.com/mysql/mysql-community/wiki

mysql / mysql-community

Q Type to search

<> Code Issues Pull requests Discussions Actions Projects Wiki Security and quality Insights

## Home

mysql-admin edited this page yesterday · [15 revisions](#)

## Welcome to the MySQL Community Team on GitHub

This page is a central place for sharing updates and materials from the MySQL Community team.

Here you can find content from our ACE/RS regular calls and MySQL Public Discussions, including slides, summaries, and supporting materials that provide additional context beyond what is shared publicly.

Our goal is to make it easier to stay informed, follow ongoing discussions, and access useful resources in one place.

## General

- [MySQL Developer Guide](#)
- [MySQL Community Roadmap Update and Invitation: MySQL Contributor Summit](#)
- [MySQL 9.7.0 LTS Is Now Available: Expanded Community Capabilities and Dynamic Data Masking for Enterprise](#)

## MySQL Contributor Summit 2026

- [Submitted proposals](#)
- [Proposed Agenda](#)

## MySQL Community Roadmap Public discussions

4th Public Discussion Webinar, May 21, 2026

Pages 3

Find a page or section...

Home

Welcome to the MySQL  
Community Team on GitHub

General

MySQL Contributor Summit  
2026

MySQL Community Roadmap  
Public discussions

4th Public Discussion  
Webinar, May 21, 2026

3rd Public Discussion  
Webinar, Apr 21, 2026

2nd Public Discussion  
Webinar, March 23, 2026

1st Public Discussion  
Webinar, Feb 25, 2026

MySQL Contributor Summit 2026 -...

MySQL Contributor Summit 2026 -...

Clone this wiki locally

# MySQL Contributor Summit 2026 (2026年5月26日)

mysql / mysql-community

🔍 Type / to search

<> Code Issues Pull requests Discussions Actions Projects Wiki Security and quality Insights

## MySQL Contributor Summit 2026 - Proposed Agenda

mysql-admin edited this page yesterday · [1 revision](#)

### Main Room 104 Agenda

Time	Room	Session / Proposal Title	Speaker(s)	Roadmap Category
8:00AM-9:00AM	102	Breakfast/Coffee		
9:00AM-9:15AM	104	Opening Session	Heather VanCura	
9:15AM-9:30AM	104	MyVector: Component Architecture Migration for MySQL 8.4 LTS and 9.7 LTS	Alkin Tezuysal (ACE/RS)	Extensibility / Ecosystem / Tooling
9:30AM-9:45AM	104	Native VECTOR Store and VECTOR INDEX Support for MySQL	Mayank Prasad (Oracle)	AI & Cloud
9:45AM-10:00AM	104	Official MySQL-Native MCP Interface for AI Assistants and LLM Tools	Miroslav Rajcic (Oracle)	AI & Cloud
10:00AM-10:15AM	104	Performance Improvements and Vector Support	Abhinav Dhandh / Jignesh Shah (Amazon)	Performance & Observability (AI & Cloud)
10:15AM-				

Pages 3

Find a page or section...

Home

MySQL Contributor Summit 2026 - ...

Main Room 104 Agenda

Breakout Room 1 (102) Agenda

Breakout Room 2 (106) Agenda - PlanetMySQL, Ecosystem, Outreach, Bugs/Contribution Process, Releases, Governance, Metrics

Main Room 104 Agenda

MySQL Contributor Summit 2026 - ...

Clone this wiki locally

<https://github.com/mysql/mysql-c> 📄

# OCIのAlways Free Servicesにて 無料でMySQL HeatWaveを利用可能

<https://www.oracle.com/jp/heatwave/free/>

MySQL HeatWaveも期間の制限なく無料で使用可能  
インスタンス数や容量、一部機能の制限あり

**NEW!** MySQL HeatWave GenAIも利用可能

ベクトル・ストアやMySQL HeatWaveに  
内蔵されたLLMを活用

**MySQL**<sup>TM</sup>  
**HeatWave**



ORACLE